

2019年度 事業報告 概要

(自・2019年4月1日 ～ 至・2020年3月31日)

2019年度は公益財団法人として8年間を経過した。財団の事業の骨子である公益書事業を推進実行することにより、豊かな福祉社会の実現のため支援を続けること。また、社会の変化に対応するよう次代を見据えた事業の在り方を模索しつつ、新しいプログラムを加え事業の充実を図ってきた。

社会福祉を担う人びとの資質の向上、諸施設への助成、社会福祉の発展を制度や知識をもってリードする人材の育成のため奨学金支給等各事業は概ね実行したが、年度末近くに世界を震撼させる新型コロナウイルスの発生によりいくつかの事業を中止することになった。

事業を推進するにあたって、以下を課題と踏まえつつ実施した。

- ① 海外研修を高齢者福祉問題に加え、子どもの社会的養護の在り方を学ぶ研修を続ける。
- ② 高齢者と児童・子どもへの対応
- ③ 自然災害による地域対応や地域福祉活動への支援
- ④ 財務の強化と安定化
- ⑤ ホームページを中心とした情報の発信、「愛恵たより」の発行による福祉のコミニイづくりなどである。

公益事業の概要

福祉に携わる人々の資質の向上のため海外研修、また国内における社会福祉情報提供のための講座、講習、セミナー、施設見学会、手話教室等を開催。福祉をテーマとした「エッセイ」の公募等で広く福祉社会への啓発をめざしてきた。

また、社会福祉施設は規模を問わず新設されているが、財政的にタイトな施設も数多くみられ助成の要請は増加している資金助成をしてきた。

高度化する福祉社会のリーダーとなるべき人材を育成することは将来を見据えた福祉社会への総合的な支援である。そのための具体的な事業としてペイン記念奨学金を給付、開始6年目となった。

(公1) 公益事業

ア. 海外研修事業

海外での社会福祉の実態を学び、自らの実践を振り返る機会とし、より優れた実践の担い手として成長し、日常業務に生かしていく「人材」となることをテーマとしての研修である。

① 「高齢者ケア」アメリカ・ポートランド州立大学における研修

2019年度は、前年度に引き続き特別養護老人ホームの施設長等の管理者的立場にある者の経営的な訴求を取り入れこの企画を継続して企画実施した。

ポートランドは高齢者が最後まで自立した生活をするを考え、新しい生活スタイルを作り出した地域である。その地の州立ポートランド大学における研修の内容と成果は高いものがあると評価し、継続し実施した。

【訪問先】 アメリカ・オレゴン州 ポートランド州立大学

実施期間 2019年10月14日～10月19日
台風19号の影響があり出発が1日遅れた。

参加者 公募による 13人 財団委員3人
海外研修企画委員 遠藤久江、助川征雄、松井直樹、平田美智子
公募期間 2019年7月15日～9月15日

委員会開催 4/26 (2016年度研修計画) 7/19 (選考委員会 10人選考) 8/31 (オリエンテーション)、10/24 (成果と反省、報告書作成の検討)
1/13、2017年度研修 (ポートランド予定)
研修の成果を共有するため「アメリカ・ポートランド研修報告書」を200部発行配布した。

② 「子ども・家族を支援する」シンガポール研修 新型コロナウイルス感染防止のため中止した。

新型コロナウイルスの感染予防のため中止したが、計画は以下の通りであった。

昨今の「子ども」をめぐる社会情勢は陰しく、ことに家庭において、地域においてどのような支援が必要かを考えて、2018年度に初めての研修を「シンガポール子ども協会」をはじめシンガポールの取り組みを見学研修した。2019年度も継続する。

【研修先】 シンガポール子ども協会、児童保護専門センター、地域児童家庭センター他

実施期間 2020年2月9～15日

参加者 公募による12人 財団委員3人

海外研修企画委員 遠藤久江、助川征雄、松井直樹、平田美智子

委員会開催日 4/9、7/1、8/26、9/14、12/3、3/9 (メール)

イ. 講座講習等開催事業

社会福祉の担い手に、新しい知識、技術等を知らせるため、社会福祉の啓発。
特に個人では収集できない情報などを提供して将来の課題を探り、社会福祉の充実に寄与、支援するため各種事業を開催した。

2019年度開催事業

	事業名	内容	公募期間	実施日	場所	参加人数
1	音訳講座 基礎編	印刷物の読書に困難な障害のある人のためにデジタル化し、音声での読書を支援する。	1/20～ 2/17	5/29～30	愛恵ビル	9人
	音訳講座 応用編			10/15、16	愛恵ビル	9人

2	施設見学①	「やめない職場作り」工夫と外国人スタッフのへの対応教育を指導にも力を入れている。積極的に福祉機器を導入職員の介護労働の軽減に努めている。	4/20～ 5/20	7月10日	特養 東京清風園	27人
3	施設見学②	「住み慣れた地域に障がい者が働く場と生活する場をつくりたい」という願いの実現を目指してきた。入所、日中生活介護 就労 B 型施設理念に添ったしっかりした経営、地域社会との共生、ライフステージに応じたサービスを学ぶ。	9/10～ 10/11	11月9日	障がい者施設 やすらぎ リバーシ ティ	10人
4	セミナー (講演会)	川越 厚 納得死を実現する医療	8/10～	10月10日	東京・北区 北とぴあ	75人
5	講演会	阿部志郎 石井十次と私		12月10日	野村証券 研修セン ター	80人
	手話教室	手話教室 手話通訳者へのステップ講習会		4～3月 20回/年	愛恵ビル	60人
	夏休み子供 手話教室	子どものための手話教室		8月6, 7, 8	愛恵ビル	26人

講座講習企画委員 田中弘、新田和子、上田健、伊藤美智子

委員会開催 6/8, 6/30、7/2、7/26、7/30、8/20、8/25、8/27、9/12、10/1、10/22、11/9
12/9、12/17、1/16、2/6、3/6、3/9

川越講演会、阿部講演会 とともに DVD 制作

ウ 愛恵エッセイ賞（懸賞論文）募集事業

豊かな福祉社会を創るため、国民各層から助け合い、支え合う体験、経験のエッセイを公募、福祉意識の涵養のため公募した。

公募期間 2019年9月15日～11月15日

応募数 学生 92、専門職16、一般128 計236

選考委員会 2020年1月23日

選考委員 八尾 勝、今野義美、河合裕志、坂上三男

表彰式 福祉講演会は新型コロナウイルスの感染防止のため中止した。

受賞者

区分	最優秀	優秀	佳作	奨励
学生	片山祈実香	唐沢杏里 三宅さくら 志田明クラウス	門山亜里沙 泉遥香 鍾 暁燕	兵頭優生
専門職	菊池真梨花	帳 世和	下野えい子	—
一般	塚野安枝	渡辺勇三 西 直人	鈴木愛子 長井文	佐藤ゆき江

表彰作品を600部 制作 配布。

エ 社会福祉育成活動推進事業

① 助成金給付

社会福祉法人及び特定非営利法人等が実施している事業のうち比較的小規模、財政的な裏付けの少ない施設や先駆的な試み、開拓的な事業に対して財政的助成をした。

公募期間 2019年9月15日～11月15日

応募数 123件

選考委員会 2019年12月20日

助成件数 107件

選考委員 小島敏則(東京都社会福祉協議会)、田中 弘 (愛恵財団)

新田和子 (東京 YWCA)

ホームページ、福祉新聞、東社協、一般紙など。

2019年度より電子申請を採用した。申請者の入力時点で業態、事業規模、法人格等を点数化し、選考の参考にするデータが収集し基本的な点数化を計った。さらに有効な手段とすべく改良する。

②ペイン記念奨学金給付

社会福祉界のリーダーとなるべく人材の育成を目的として給付型奨学金である。

対 象 指定16大学 福祉系大学院生

公募期間 2019年4月1日～5月15日

応募者数 6人

必要書類 申請書、成績証明書、指導教員推薦書、本人レポート (自筆のもの)

選考基準 1次 学業成績、指導者推薦書内容、本人レポートによる順位付け

2次 面接勉学の意欲、研究分野及びテーマの口述、自己表現力

1次選考会 5月24日

2次選考会 6月 7日 6人面接

6人決定

受給者

福岡県立大学院 2年	實崎伸介	1年給付
関西学院大学院	松田寛史	1年給付
関西学院大学院	神田 歩	1年給付
立教大学院	宮路 萌	1年給付
立教大学院	金 フオウ オン	1年給付
関東学院大学院	林共生	1年給付

受給者の累計 21人(2014年~2019年)

選考委員 遠藤久江、河合裕志、李 善恵(関西学院大学)

柴田謙治(金城学院大学)、都築光一(東北福祉大学)

委員会開催 4/5(報告)5/24、6/7、1/28 /24、3/27(受給者報告会)、

協賛助成 日本キリスト教児童福祉連盟

(全国の社会的養護にある子どもたちとの高校生交流会

2019年7月28日~31日 参加者70人)

全国福祉施設研究会研修会 (於・日本福祉大学 東海キャンパス)

地域セツルメント研究会 (参加者250人)

2020年2月15~16日

収益事業

(収1) 施設貸与事業

当財団が所有している「愛恵ビル」は財団公益事業推進の拠点場所として使用されるほかは、所要スペースを収益事業として貸与している。

2019度の 事業収入は 合計 8,172,050 円

テナント 株式会社 ESS社 3室

社団法人 日本エアマンシップ・操縦士養成機構 1室 良公監査法人1室

法人運営に関する事項

1. 総務事項

財団設立年月日 1998年10月1日

基本財産 (2020年3月31日現在)

投資有価証券 2,735,128,000 円(時価)

普通預金 3,000,000 円

土地 100,000,000 円

建物他 39,338,038 円

2. 役員 2020年3月31日現在の役員 理事8人 監事2人

代表理事 理事長 高原 敏夫（非常勤） 業務執行理事（常務理事・常勤） 杉浦孝夫
 理事（非常勤） 遠藤久江、河合裕志、昆百合子、田中弘、西崎攻司 木村真理子（2020年
 3月10日 定時理事会において業務執行理事・常勤に選出）
 監事（非常勤） 新庄正 廣田伊志子

評議員 2020年3月31日現在の評議員（非常勤） 8人

上田 健、岸川洋治、坂上三男、坂本正路、塚越敏夫、新田和子、野原健司、
 助川征雄

3. 事務局

常務理事（事務局長） 1人 職員 1人 久保悦子

4. 届出、変更事項 7月10日 理事就任 木村真理子

5. 「愛恵たより」 4号 5号 発行
 編集委員 西崎攻司、昆百合子

6. 財産運用 財産の運用に関しては決算報告書に掲載の基本財産管理表に記載のとおりである。
 基本財産の運用は、債権の入れ替えによって、金利を改善することができた。
 運用の管理について、より周到であるべきとの内閣府立ち入り検査時の指摘があったので、運用委員会を充実させる。

7. 業務報告 内閣府立ち入り検査実施 2019年12月18日 10時～16時。
 キリスト教堺事業同盟 総会出席
 東京都社会福祉協議会 民間助成団体部会 加入
 石橋社会保険労務士事務所と労務管理事務契約
 ドイツの「共同居住住宅」「終末医療・介護」視察 高原理事長、杉浦常務理事参加
 ビル管理 三菱電機システム社とエレベーターの中央管理契約締結

開催年月日	決議事項
2019年5月13日 定時理事会	① 2018年度事業報告及び収支決算の件 ② 監査報告の件 ③ 役員候補者推薦の件 ④ 定時評議員会開催の件
第1回臨時理事会 8月22日	① 共催、協賛、後援の規程 ② 阿部志郎先生講演会の件 12月10日 ③ 東社協 民間助成団体部会加盟の件
第2回 臨時理事会	

に 関
事 項

11月28日	① 2020年度 事業計画・収支予算に関するヒアリング ② 次期役員等の選出に関するヒアリング ③ 2019年度臨時評議員会、第2回定時理事会設定の件 ④ 2020年度定時評議員会設定の件	役 員 す る
第3回臨時理事会 2020年1月30日	① 公益認定委員会立ち入り検査対応の件 ② 2020年度事業計画、収支予算の件 ③ 次期理事監事候補者の件 ④ 業務外部委託の件 ⑤ 2019年度定時理事会、臨時評議員会開催の件	
第2回定時理事会 2020年3月10日	① 2020年度事業計画案承認の件 ② 2020年度収支予算案承認の件 ③ 業務執行理事（常勤）選任の件	
	⑤	
	⑥	

2019年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する付属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、作成しない。

以上